

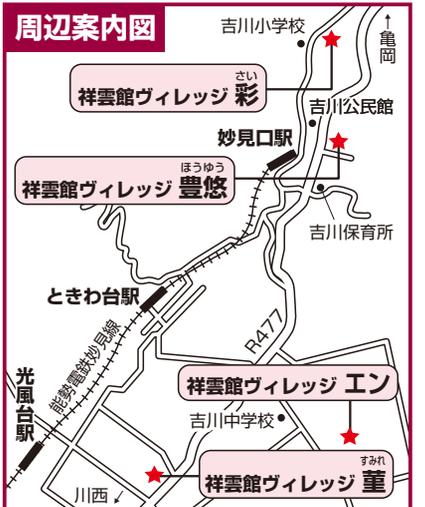
# 笑雲

しょう ぶん

第85号  
発行：令和2年1月1日

社会福祉法人 豊悠福祉会  
**祥雲館**  
人生の学校  
〒563-0101  
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1  
TEL：072-733-2301(代表)  
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



## 新年のご挨拶

新年 明けましておめでとうございます。  
旧年中の皆様からのご支援に心から感謝を申し上げますとともに、本年におきまして更なるご指導ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。  
さて、東ときわ台において「祥雲館ヴィレッジ・エン」を昨年9月に開設できましたのは、偏に、近隣の皆様のご理解の賜物であります。地域における交流の場の一つとしてご利用いただけるよう、皆様のお力添えを賜りながら、共生社会の実現を目指して運営をして参りたいと存じます。  
当法人は、平成11年の豊悠プラザでのデイサービスを始めとして、これまで地域の皆様の需要に

合わせて事業を拡大してまいりました。その結果、17事業、職員数200人を擁する組織体へと成長してまいりました。  
しかしながら、益々膨らむニーズにお応えできるサービス展開、また、それに対応できる職員の確保と育成が大きな課題となっております。  
福祉に関わる職員は、知識や経験に裏付けられた技術の上に、人間性豊かな感性に基づいた誠実な対応が求められております。  
私たちの理念である「Art & Science」の実践が地域の皆様とともに培われ、人々のそれぞれの仕合せに繋がっていくことを願います。  
令和2年1月1日  
社会福祉法人 豊悠福祉会  
施設長 小林 修

## 学びあう場での対話から生まれた結晶！

平成22年1月にスタートした笑雲カフェは10周年を迎えました。笑雲カフェでの学びあいの中で、住み慣れた町で住み続けたいという思いを形にしようと検討し、昨年9月ようやく、東ときわ台にサービス付高齢者向け住宅「やわみどり」を開設するに至りました。また、ときわ台駅周辺再開発に対し、豊能町の将来を見据えた意見を『検討報告書』として提出しました。これらは笑雲カフェの貴重な財産となっております。  
**地域と祥雲館の更なる協創の場を目指して**  
地域での課題を、対話により学びあう場である笑雲カフェは、これから更に必要性を増していくものと考えます。しかし、社会情勢

## 笑雲カフェのこれまでとこれから

や福祉制度、地域の様子や祥雲館の面々等、変化を見せています。これまでの10年を糧に、新たな活動成果を積み重ねていかなければなりません。  
笑雲カフェが発信する「支え合いの場の創設」は地域共生社会の実現だと考えます。その為には、時代の波をしなやかに乗り切る新たな力が求められます。笑雲カフェを地域と祥雲館の更なる『協創の場』と位置付け、これからも、多くの地域の皆様からお力添え賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ致します。  
社会福祉法人豊悠福祉会  
広報担当 滝本 弥生



## 祥雲館町おこしプラザ ～活動報告～ 社会福祉HERO'S TOKYO 2019

12月10日、東京渋谷で開催された「社会福祉の現場で働くスタッフたちの熱い思いを伝えるイベント『社会福祉HERO'S2019』」に祥雲館のスタッフが登壇しました。

昨年6月開催の祥雲館 TOYONO COLLECTIONで、ファッションショーを通じてモデル利用者から家族、地域の方々へ広がった「笑顔の輪」をテーマに発表させていただきました。魅力ある人がいっぱい町「豊能町」だから実現したこの取り組みを全国に向けて発表することができたこと嬉しく思います。当日の様子は、後日youtubeなどで配信されます。



**5/17開催 「祥雲館 TOYONO COLLECTION2020」モデル募集!**  
※詳細は裏面をご覧ください

## 笑雲 Café 第40回 こころの健康診断 ～あなたは自分らしく生きていますか？～

今回は、豊能町女性活躍人材育成事業「とよのわたし研究室」1期生より『自分らしく生きること』についてお話を伺います。「自分らしさ診断」を体験し、豊能町で幸せに暮らし続けるヒントを一緒に考えてみませんか？ また、当日は昼食をご用意します。お時間、会費等をご確認の上、お申し込みください。



【日 時】 令和2年1月25日(土) 10時30分～13時  
【場 所】 祥雲館ヴィレッジ・エン En-GAWA (豊能町東ときわ台6-12-8 ☎072-733-2181)  
【定 員】 40名(先着順)  
【会 費】 1,000円(昼食代として) 提供：+NICO  
【語り手】 とよのわたし研究室 1期生研究員

【申し込み】 祥雲館 ☎072-733-2302 (1月15日(水)まで)  
※駐車場ご利用の方はお申込み時にお伝えください。

1月～4月の予定

【介護教室】1月13日(月)、4月13日(月)／13時～15時

場所：祥雲館ヴィレッジ・豊悠(吉川187-1)

お問合せ ☎072-733-2302(ゴンジン)

【ダンディ倶楽部・エン】3月9日(月)／13時～15時

場所：En-GAWA(東ときわ台6-12-8)

お問合せ ☎072-733-2302(ゴンジン)

【笑雲café】1月25日(土)

場所：En-GAWA(詳しくは表面をご覧ください)

【祥雲館町おこしプラザ】

予告／祥雲館TOYONO COLLECTION 2020開催決定

5月17日(日) 場所：ユーベルホール

★モデル募集★私たちと一緒にショーを盛り上げていただける一般モデルを募集します。申し込み・お問合せは、祥雲館ヴィレッジ・エン☎072-733-2181(滝本)または、公式Instagram、Facebookへメッセージをお願いします。

ボランティア募集

おやつづくり、手芸・制作活動、外出レクなど得意なことをいかしてみませんか？

問合せ先：豊悠福祉会 ☎072-733-2301(担当：ゴンジン)

【ボラコラム】-ボランティアのコラム-⑤ 聞こえない世界

93歳になる利用者さん。足腰は丈夫で腰も曲がっていない。頭もしっかりされているが、耳が遠いのが難点である。補聴器は雑音が気になり嫌なようである。同居する息子さんに「聞こえた振りしてうなずくな」と言われたりもするそうだが、ご本人は、聞こえない世界を楽しんでおられるようだ。(M・S)

昨年たくさんのボランティアの方にご協力いただきました。4月に「ボランティア懇親会」を予定しております。詳細が決まりましたら、ご連絡させていただきます。

TOPICS

★職員親睦会「高野山日帰り旅行」

電車に乗って、のんびりと高野山へ行ってきました。橋本駅から南海電鉄の高野山へ旅する特別列車「天空」に乗車。日頃の疲れもリフレッシュ！楽しい一日でした。



★ショートステイ・リビング祥雲館

女子力高め男性スタッフが、おやつにアップルパイを手づくり。そのおいしさに、利用者さんや女性スタッフ、みんな思わず笑顔がこぼれました。ごちそうさまでした。



★第39回笑雲café

今回のテーマは集中豪雨。「うちは大丈夫」は通用しない。身近に起こる災害に日頃からできる準備、今なにができるのか考え、みんなでシェアすることが重要です。



★とよのまつり(文化展)

今年も文化展に、祥雲館の各事業所から作品を出展させていただきました。利用者さんが頑張って作った作品すべてが輝いていました。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら➡



祥雲館 facebook

検索

次号は、令和2年3月25日～31日配布予定です。

地域交流スペースEn-GAWA

11月20日より、「祥雲館ヴィレッジ・エン」の地域交流スペースEn-GAWAがフリースペースとして営業をはじめました。セルフサービスで挽きたてコーヒーが、一杯50円。



コーヒーを飲みながらおしゃべりしたり、手芸をし

たり、薪ストーブで焼き芋を作ったり、和やかな空気が漂っています。これからも、このスペースが、多世代が集う憩いの場となり、地域の皆さんと一緒に「みんなの居場所」を創っていければと思います。



【営業時間】

毎週/水・木・金・土 時間/9時30分～16時

※事情により臨時休業の場合もあります。掲示板等でご確認ください。

おまかせヘルパー ～みどりのお姉さん～

私たちは、東ときわ台のサービス付き高齢者向け住宅「やわみどり」への訪問サービスも行っています。主なサービス内容は、掃除・洗濯といった家事支援と、入浴など身体介護です。

ここで働くヘルパーは、緑のエプロンを着用し、毎日、交代で利用者の生活を見守っています。また、サービス提供時間の合間に、入居者さんと世間話をしたり、併設の地域交流スペースでコーヒーを飲んだりもします。こうやって入居者さんと

話をすると、必要とされていることが発見できたり、訪問介護のやりがいにもつながります。それ以上に、入居者もスタッフも楽しい方ばかりなので、笑いあふれるアットホームな職場です。

最後に、やわみどりでサービスを開始してから4カ月、同じ敷地内の居室を訪問すること



にも慣れてきました。これからも利用者の意見や希望などを伺いながら、心地よく・楽しく暮らしていただけるようにサポートしていきます。

編集後記

福祉の仕事は「人をピカピカにする職業」と紹介された方の言葉に魅かれました。その方も輝いておられました。どうやらピカピカな人になれるのかと考えてみると、「チャレンジ」という言葉が浮かびました。新しいことに挑戦するのは、大変だし、不安がいっぱいですが、勇気を出して一歩踏み出すと、キラキラ輝く未来が開けるのかもしれない！今年も一歩を大切に頑張ります。

広報担当 滝本